

薬剤師



薬と健康の週間に寄せて ～薬のことをもっと知りましょう。～

薬剤部長 長谷川 功

みなさんは、処方された薬を正しく服用していますか。また、ご自身が処方された薬は、いつ服用し、どんな働きをするのかご存知ですか？

今は多くの患者さんが院外処方になっていますが、お薬の疑問について薬剤師に聞いていますか？お薬の疑問については、院内・院外問わず、薬剤師に聞いてください。

病気の治療にとって、医師が処方した薬を正しく服用することは、とても大切なことです。正しく服用する上で、現在処方されている薬が非常に多い場合、なんでこんなに服用しなくてはいけないのかを理解していないと、服薬を忘れてたり、中断してしまう原因になります。ですが、患者さんにとって必要である薬の知識、認識を持っていれば、服薬を忘れてしまうなんて怖くてできなくなります。

血液検査値や症状等を是正するために薬は処方されており、患者さん一人一人の状態を治すために薬の種類が増えてしまっていることもあります。医師は決して無駄な薬は処方していません。服用の意義をわかっていないと、服薬が悪くなりがちになってしまい、病気の症状改善にはつながりません。正しい量を正しく服薬し、初めて効果が出ると考えてください。余分に服用しても、何も良いことはありません。副

作用が出るだけです。服用上の注意すべき点がある薬については、食べてはいけないものや服用時間を守らないとせっかく服用しても効果が十分発揮できなくなってしまう。

薬の説明書を読んでわからないことがあったら、いつでも薬剤師に聞いてください。薬剤師は服薬を良くするための「薬の水先案内人」です。

- ご自身の服薬状況に関しては、医師に正しく伝えてください。服薬が不十分なのに正しく服薬しているなどと言ってしまうと、医師は「正しく服薬しているのに効果が出ていない」と考え、さらに薬が増えてしまうこともあります。正直にお話ししてください。
- 処方薬は基本的に新しいものから服用してください。そうすることにより、服薬の状況が判断できます。古い薬から服用していると、処方薬による変化に気づかないこともあります。新規の薬が増えた時は、症状の変化に注意してください。

薬は正しい服用が最大の力を発揮してくれます。「薬の道案内人」である薬剤師を十分に活用し、薬でわからないことは何でも聞いてください。

薬と健康の週間とは (平成27年10月17日(土)～10月23日(金))

医薬品を正しく使用することの大切さ、そのために薬剤師等の専門家が果たす役割の大切さを一人でも多くの方に知ってもらい、国民医療の質の向上に貢献することを目的として設定された週間です。毎年、全国各所でイベントや積極的な啓発活動が行われています。